別紙

令和５年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

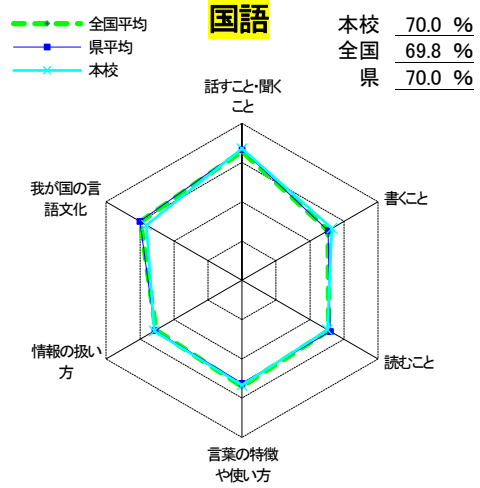
呉市立呉中央中学校
（呉中央中学校区）

全国平均値との差（英語については，「話すこと」調査を除く）

	国語	数学	英語
呉市教育振興基本計画〈指標〉	＋５．０	＋５．０	
令和８年度	－	－	－
令和７年度	－	－	－
令和６年度	－	－	－
令和５年度	＋０．２	＋３．０	＋７．４
令和４年度	＋２．０	＋５．０	－

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組　　◎･･･各学校　◇･･･中学校区

国語



本校　70.0 ％
全国　69.8 ％
県　70.0 ％

重点課題

◎文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりすることに課題がある。【読むこと】（設問２四　正答率 59.1%）

◇複数の文章や資料を適切に読み取り，自分の考えと結びつけて表現することに課題がある。【読むこと】（設問４三　正答率 52.7%）

改善の方策

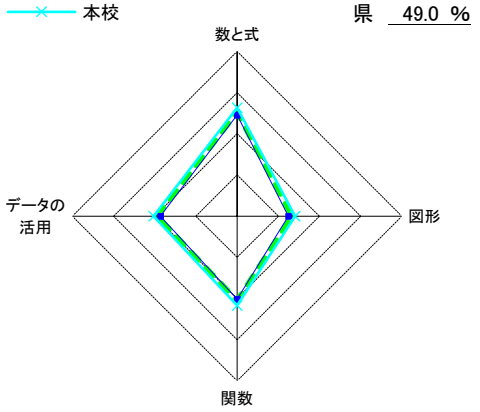
◎論説や報道などの文章を比較する学習活動を通して，「構造や内容の把握」と「精査・解釈」の学習過程に取り組ませていく。自己の考えを形成した上で，他者の考えと比べたり，関連した別資料に触れさせたりするなどの指導を実施する。

◇国語を主とした教育活動全体を通して，様々な情報の中から必要な情報を抜き出し，自分の考えにつなげて文章を書かせる。更に，互いに読み合って，評価する活動を位置付ける。

検証

◎◇全国学力（設問１二）の類似問題（第３～６学年，２月）目標 70%
全国学力（設問２四）の類似問題（第９学年，１月）目標 75%
全国学力（設問４三）の類似問題（第９学年，１月）目標 70%

数学



本校　54.0 ％
全国　51.0 ％
県　49.0 ％

重点課題

◎数学用語の理解に課題がある。（設問７（１）正答率 56.7%）

◇算数・数学用語の定義を正しく理解することに課題がある。

改善の方策

◎教師側の説明時，数学用語の使用を意識するとともに，数学的な用語や表現を用いて説明し，伝え合う活動を増やす。

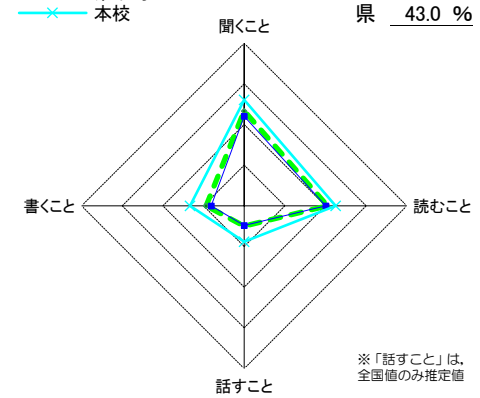
◇算数・数学用語を用いて説明する機会を増やす。

検証

◎◇全国学力（設問２（３）（４））（第５学年，12 月）目標 70%

全国学力（設問７（１））の類似問題（第９学年，12 月）目標 70%

英語



本校　53.0 ％
全国　45.6 ％
県　43.0 ％

※「話すこと」は，全国値のみ推定値

重点課題

◎◇紹介したい事柄について，それを説明するためにまとまりのある英文を書くことに課題がある。【書くこと】（設問 10　正答率 15.2%）

改善の方策

◎◇身近な事柄や日常的な話題について，目的・場面・状況に応じて事実や自分の考えなどを整理し，伝え合ったり書いたりする活動を設定する。

検証

◎◇全国学力（設問 10）の類似問題（第９学年，２月）　目標 60%

【来年度に向けて】